

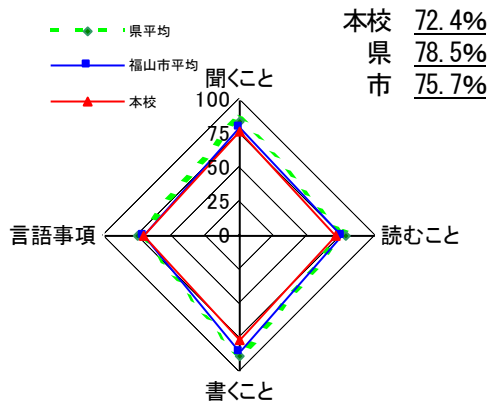
## 昨年度課題

- ①【読む】◎気持ちにふさわしい言葉を選んだ理由を適切に見つけること  
◇文章中の表現について言い換えた部分を抜き出すこと  
☆段落相互の関係から文章を読み取ること
- ②【書く】◎お知らせの工夫していることを見つけて書くこと  
◇必要な条件を入れて書くこと  
☆目的に応じて情報を読み取り、分かったことや自分の考えを明確に書くこと

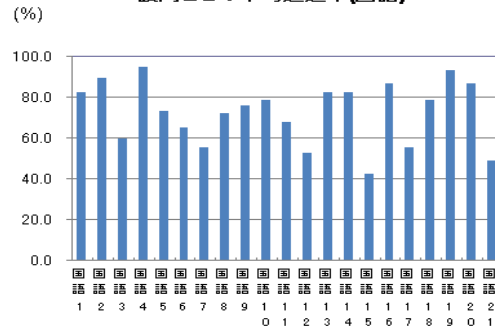
## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ① ○説明文で段落相互の関係を把握するためにメモにとったり、ポイントになる言葉に線を引いたりして読み取らせた。  
○何を読み取るのかねらいを明確にした授業改善を進めた。
  - ② ○必要な情報を取り出し、条件に合う書き方ができるように、自分が読み取ったことを根拠を明確にして書き、交流しあう場面をもった。
- 《本年度の目標値 話すこと・書くことの領域の通過率を県平均±1ポイントにする  
説明文の問題で段落相互の関係を把握の問題で県平均±1ポイントにする》

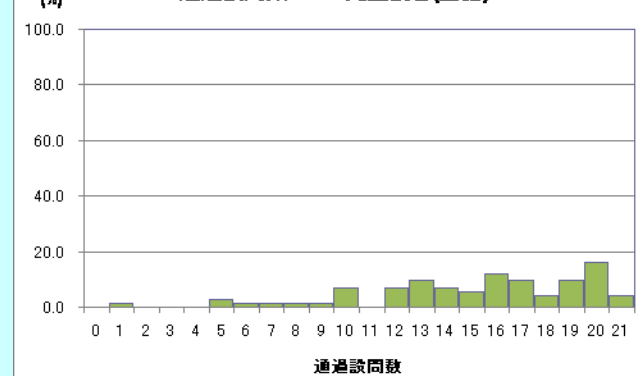
## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



設問ごとの平均通過率(国語)



通過設問数ごとの児童割合(国語)



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎国語辞典の引き方について辞書の構成について理解が不十分で、辞書の使用が習慣化されていない。(通過率52.7%)
- ◎場面の移り変わりや情景を想像しながら文章の中から適切な理由を読み取ること課題がある。(通過率41.9%)
- ◎自分の考えを明確にし、段落構成を考えながら文章に書くことに課題がある。(通過率48.6%)

## 取組みの検証

- 時期：2月前半
- 目標値：通過率を22%向上
- 方法：基礎基本定着状況調査再テスト

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

### 【国語科】

- ①教材文を読み聞かせたり、読んだりする際、分からない言葉に線を引かせ、授業の時間の中で意味を調べさせる時間を設定したり、家庭学習の中で意味を調べさせたりする。
- ②物語文の指導において、登場人物の気持ちや各場面の情景を表す言葉に視点をあてて読み取らせたり、叙述に即して心情を考えたりする。また、その際、理由を明確にさせて文章に書かせたり、ペアやグループ学習などにより考えを深めさせたりする指導を継続していく。
- ③説明文の指導において、各段落に書かれていることの要約を行いつつながら、段落相互の関係や「始め」「中」「まとめ」などの段落のまとまりについて考えさせる指導を行う。

### 【全校・他教科等】

朝の読書タイムや「読書10000ページのたび」の取組みを通して、様々な種類の本を読む機会を設定し、月に1~2回読書感想文を書かせる。

## 来年度の目標値

- 言語事項に関する設問の通過率を75%以上にする。
- 段落構成を考えて記述する設問の通過率を本年度より10%上げる。

# 授業改善シート〔算数〕

校番(80) 福山市立 道上小学校

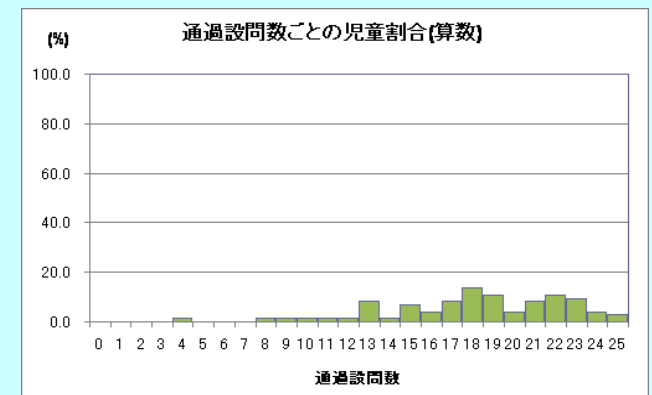
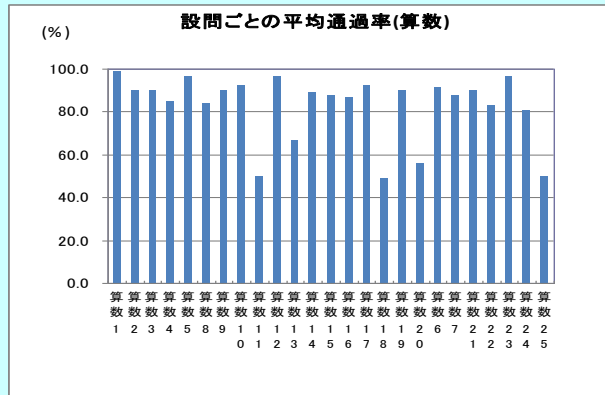
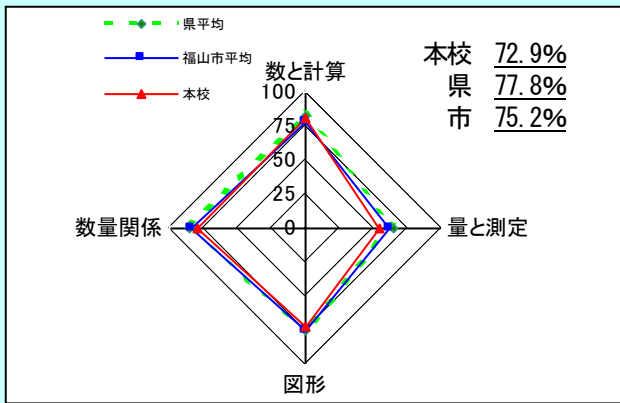
## 昨年度課題

- ①【量と測定】◎結論こいたる根拠を説明させること  
◇知っている単位が生活場面でどれくらいにあたるか理解すること  
☆何が問題となっているのか問題文を具体的にとらえること
- ②【数量関係】◎伴って変わる2つの数量を式で表す時、式の意味を考えること  
◇グラフの変化をとらえること  
☆2つのグラフを比べて考えること、他者の考えを理解すること

## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ① ○学習した単位を生活の中で適用できるように実際に体験させた。  
○問題文から聞かれていることと分かっていることに線を引いたり、箇条書きに書かせたりした。
  - ② ○導入で今までの学習との相違点を考えさせ、解決の見通しをもち、自分の考えを必ずもたせた。  
○友達の考えに対して自分の考えを出させる場を1時間に1回もつようにした。
- 《本年度の目標値 面積、四則混合計算、伴って変わる数量に関する問題の通過率を県平均±1ポイントにする》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎「量と測定」の領域において課題がある。複合図形の面積(通過率36.5%)において図形の中に補助線を加えたり、必要な数字を書き込んだりすることに課題がある。
- ◎角の測定(通過率40.5%)において具体物の操作が十分でないために、描かれた具体物を操作することができていない。
- ◎( )を使って一つの式に表す設問(通過率56.8%)において、問題文の理解が十分でないため、分かっていることや数値を整理して式に表すことに課題がある。

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

### 【算数科】

- ①算数科の学習において、具体物を活用した操作的活動を取り入れたり、問題文に自分で線を引いたり書き加えたりする指導を継続して行う。
- ②全校共通したノート指導を行い、図や絵、言葉などを活用させたり、問題文に必要なことを書き込ませたりしながら自分の考えをノートに書く指導を徹底して行う。その際、ペア学習を取り入れ、自分の考えに自信を持ったり、お互いの考えを深め合ったりする工夫を行う。
- ③授業の中で行っている「分かっていること」や「尋ねていること」を整理してノートに書かせる指導を、家庭学習の中でも書くように指導を行う。

### 【全校・他教科等】

自分の考えをノートに書かせることだけでなく、ペアやグループなどで伝え合う場を設定していく。

## 取組みの検証

- 時期：2月前半 ○目標値：通過率を20%向上
- 方法：基礎基本定着状況調査再テスト

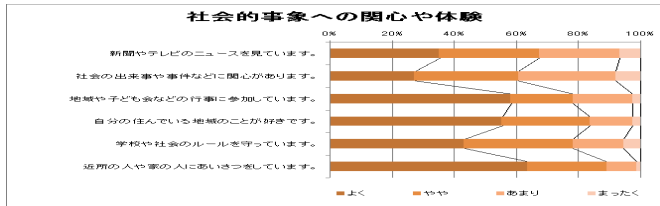
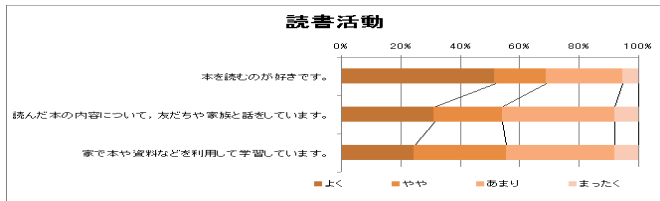
## 来年度の目標値

- 「量と測定」の領域に関する設問の通過率を70%以上にする。

# 1 生活・学習

# 授業改善シート〔質問紙調査〕

校番(80)番 福山市立 道上 小学校

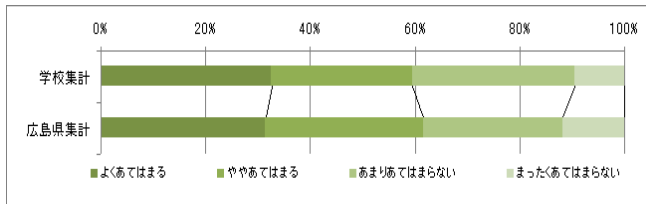


改善したい点(◎「基礎・基本」)	今後の具体的な取組みの内容
◎「家で本や資料などを活用して学習しています」(本校 55.4, 県 57.1)と、「読んだ本の内容について、友だちや家族と話しています」(本校 54.1, 県 56.6)の項目に課題がある。	・家庭学習の中に読書を取り入れたり、「家庭読書デー」を設定したりして、家庭で親子一緒に取り組める読書活動を行う。
◎「新聞やテレビのニュースを見ている」(本校 67.6, 県 75.3)と、「社会の出来事や事件などに関心があります」(本校 60.8, 県 69.1)の項目に課題がある。	・高学年で取り組んでいる「新聞ノート」「スクラップノート」を確実にやりきらせるとともに、朝の会でのスピーチの際に、スピーチの内容に取り入れさせ、調べたりまとめたりしたことを生かす場を設定する。

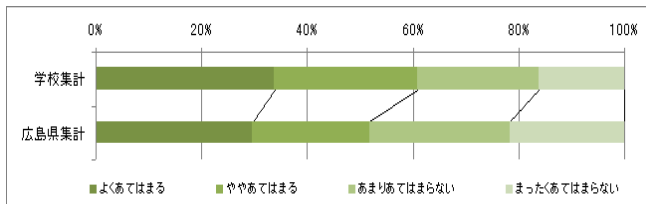
来年度の目標値	目標値
	・家で本や資料などを活用して学習している児童の割合を10%上げる。 ・社会の出来事や事件などに関心がある児童の割合を65%以上に上げる。

# 2 教科学習への意識

国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



算数の授業では、少ない人数で学習の方がよく分かります。



	児童の回答と学校の指導についての課題(◎「基礎・基本」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	◎「国語の授業を楽しみにしています」(本校 54.1, 県 54.2)の数値が、国語の意識調査の中で最も低い。  ◎「国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています」(本校 59.5, 昨年度 58.9, 県 61.6)が県の数値よりも低い。	・授業の中で、自分の考えをしっかりと持たせるとともに、ペアやグループによる学習を取り入れることで、児童がお互いの意見を聞いたり話したりして学び合える場を多く設定していく。  ・常に辞書をひけるようにする取組みを継続して行うとともに、調べたことが授業の中で生かせるよう、調べたことを発表する機会を設定したり、児童同士で調べた言葉の数を競い合ったりする場を設定したりする。
算数	◎「算数の授業では、少ない人数で学習の方がよく分かります」(本校 60.8, 県 51.7)が、中・高学年において少人数による指導法を行っているにもかかわらず低い。  ◎「算数の授業では、理由をあげて自分の考え方やとき方を説明しています」(本校 63.5, 県 58.7)が低く、自信をもって説明できている児童の割合が低い。	・自分の考えをノートに書かせ、発表したりお互いに伝え合ったりする指導を継続して行うとともに、お互いの説明のよさを伝え合わせ、お互いに自信をもって説明できるように指導を工夫する。

来年度の目標値	目標値
	・国語の授業を楽しみにしている児童の割合を60%以上に上げる。 ・算数の授業で理由をあげて説明していると思う児童の割合を5%上げる。